

10 「社会に出る」ということ

対象学年：第3学年（9月）

1. 題材：具体的な将来設計

内容 （3）学業と進路

エ 望ましい勤労観・職業観の形成

2. 題材について

(1) 生徒の実態

1年生で職業講話を行い、就労している方が感じている仕事に対するやりがいや苦勞、それらの先にある喜びなどについて考えた。2年生では職場体験学習を行い、1年生で考えたことを実感する機会を得た。また、この体験では聞いたり考えたりする以外にも、体験をするための準備としての挨拶や、言葉遣いの大切さなどについて理解する機会となった。

しかし、卒業後の進路選択を目前に控える3年生となり、希望する進路の決定や試験などの目先の目標に注目しがちで、将来の夢や希望について考える機会は少なくなっている。

(2) 題材設定の理由

生徒が実際に卒業後の進路を選択する際、これまでの学習で培ってきた勤労観や職業観を意識させたい。1、2年での学習を振り返り、社会ではどのような力が求められているのか、それに向けて、今何をすべきなのか、ということを考えさせたい。

3. 指導のねらい

企業が求める力、社会から求められる力(どの職業にも共通なもの・職業によって異なるもの)を考え、勤労観・職業観を見つめさせたい。そこから自分が興味・関心をもっている職業へつなげていくことを試みて、今の自分にとって必要と思われる能力を育てる一助にしたい。

4. 学級活動（3）の評価規準

集団行動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己の良さを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

5. 指導の過程

(1) 事前の指導と生徒の活動

1年生での職業講話や2年生での職場体験学習など、勤労観や職業観について学んできたことを振り返らせる。

(2) 本時の指導と生徒の活動

①本時の活動のテーマ 「社会に出る」ということ
～社会で必要とされる力・今後の課題～

②本時のねらい

社会に出たときに必要とされる能力を確認し、どの職業にも共通しているものや、違うものがあるということを理解させる。それを踏まえた上で、自分の興味・関心がある職業について何が必要なのか、また、どのような準備をすればよいのかを考えさせたい。

③本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 10分	1 【ワークシート】『1. 「社会に出る」とはどういうことだろうか?』について考え、記入する。	・自由に意見を書かせ、発表させる。 〈本時の活動の流れ〉 1 「社会に出る」とはどういうことだろうか。 2 「必要とされる能力」とは何だろうか。 3 2を身に付けるためにはどうしたらよいだろうか。 4 2・3を発表する。 5 今後の課題を考える。	
活動の展開 30分	2 【ワークシート】『2. 社会に出て、「必要とされる能力」とは何だろうか?』について考え、記入する。 3 【ワークシート】『3. 「必要とされる能力」を身に付けるためには、どうしたらよいのだろうか?』について考え、記入する。 4 自分の意見を発表する。	・社会に出る上で必要とされる能力や、それを身に付ける方法を考えさせる。 ・どの意見も肯定的に捉え、評価し、認めていく。	【関心・意欲・態度】 ・必要とされる能力について積極的に理解しようとしている。 【観察】[ワークシート] 【知識・理解】 ・必要とされる能力について理解しようとしている。 【観察】[ワークシート]
活動のまとめ 10分	5 【ワークシート】『4. 自分が将来就きたい職業に就くためには、何をすればよいのだろうか?』に取り組み、自分の興味・関心がある職業、就きたい職業をあげ、今後の課題を考える。	・将来を見据えて現実的な進路選択に向かわせる。	【思考・判断・実践】 ・自己の将来に目をむけ、今後の生活に目的意識をもって取り組もうとしている。 【観察】[ワークシート]

*編集委員が実践した際の評価規準は「ゴシック体(太字)」で示しています。他は設定可能と考えられる観点です。

6. 本題材の工夫例

(1) 本時の活動における工夫例

必要とされる能力について考えさせ、その能力を身に付けていくためには、今後「何」をすればよいのかを考えさせる。なお、1・2年次から、将来、社会において自己の実現を図る上で必要な資質・能力とは何なのかを考えさせることは、学習の目的を明確にし、意欲的に学習に向かう態度を育てる上でも有効であると考えられる。

(2) 事後の活動における工夫例

最後に今後の課題を書かせたことで、これからの生活を考えさせることができる。受験一辺倒になりがちな時期に、生活面の見直しを促すことができる。

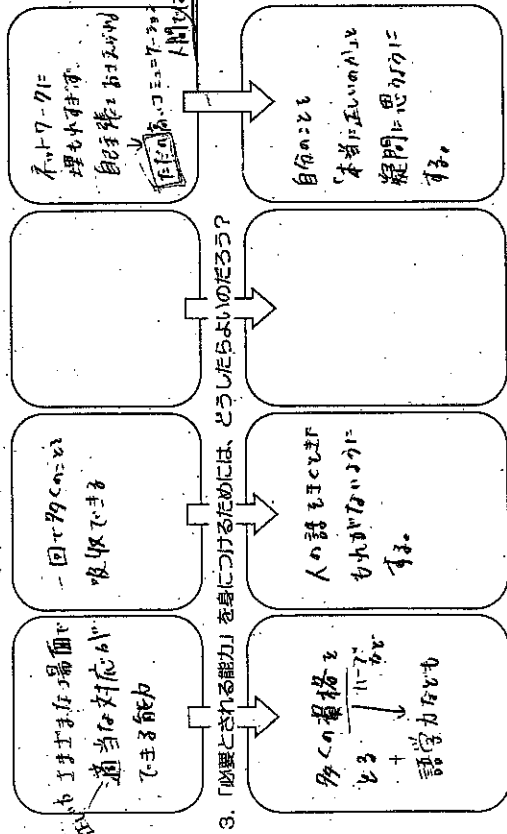
7. 本時に使用したワークシート

・【ワークシート】「社会に出る」ということ

1. 「社会にでる」とはどういうことだろうか？

・国に税金をお支払いする(国民税)
・就職する
(自給のお金)

2. 社会にでて、「必要とされる能力」とは何だろうか？



4. 自分が将来就きたい職業に就くためには、何をすればよいのだろうか？今後の課題についても考え、書きましよう。

【将来就きたい職業】
貿易会社 (外国へ行く)

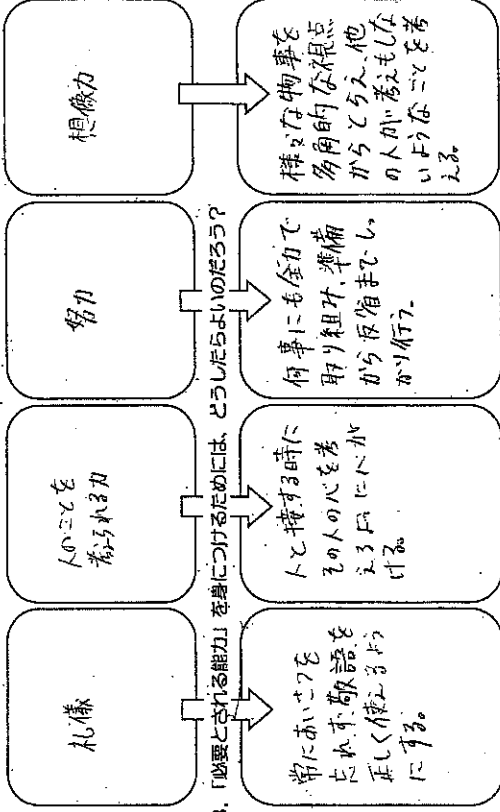
【将来の職業に就くために必要なこと】
語学の
高学歴
口がうまくなる
(コミュニケーションが得意になる)

【今後の課題】
勉強する (とにかく)
人と話す機会を多くする

1. 「社会にでる」とはどういうことだろうか？

親元を離れて生活すること。仕事に就くこと。

2. 社会にでて、「必要とされる能力」とは何だろうか？



4. 自分が将来就きたい職業に就くためには、何をすればよいのだろうか？今後の課題についても考え、書きましよう。

【将来就きたい職業】
商品開発

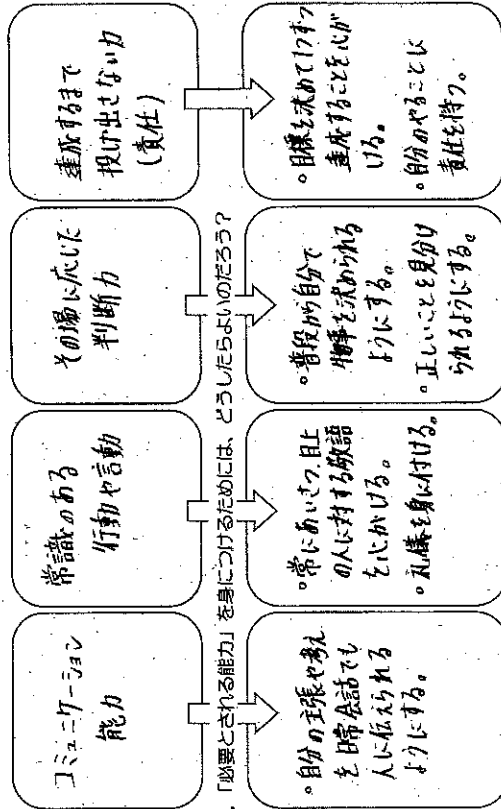
【将来の職業に就くために必要なこと】
想像力

【今後の課題】
人々とは違う視点からものを
見ることで、新しいアイデアを
生み出すこと。

1. 「社会にでる」とはどういうことだろうか？

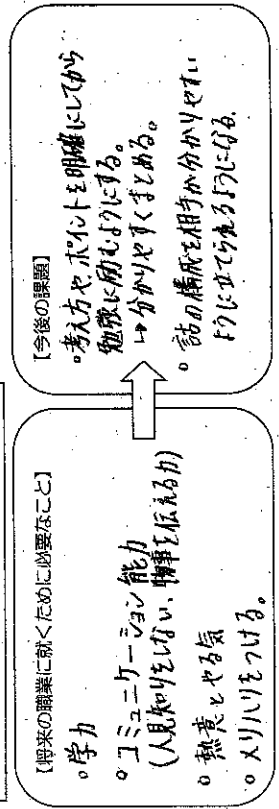
目的を持って働くこと
 ○ 一人前になること (大人になること)
 ○ 自分で仕事として暮らすこと
 ○ 自分のかで生活すること
 ○ 人間関係が複雑になること
 ○ 仕事に就くこと

2. 社会にでて、「必要とされる能力」とは何だろうか？



4. 自分が将来就きたい職業に就くためには、何をすればよいのだろうか？今後の課題について考えて書きましよう。

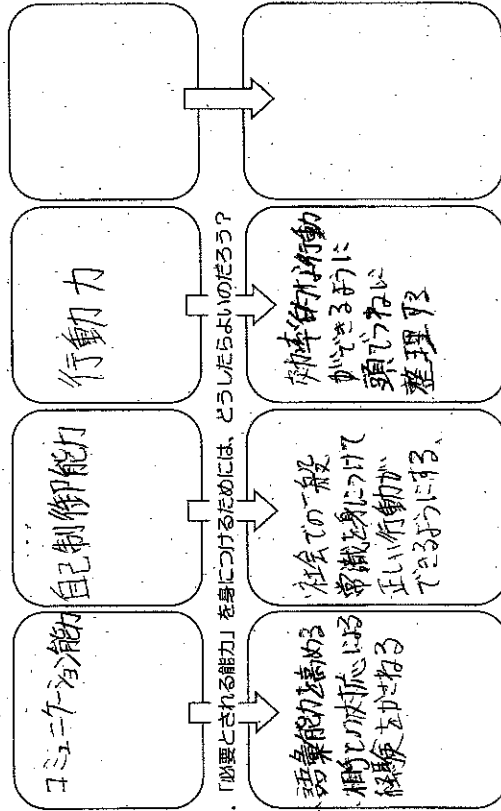
【将来就きたい職業】
塾の先生



1. 「社会にでる」とはどういうことだろうか？

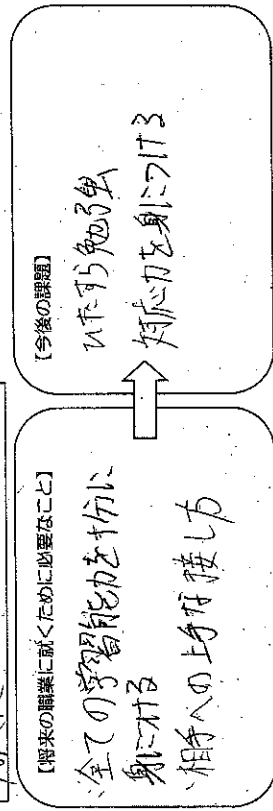
集団事業を営む (田舎)、社会に貢献を志す
 独立した生活をおくる
 自己判断で行動をする

2. 社会にでて、「必要とされる能力」とは何だろうか？



4. 自分が将来就きたい職業に就くためには、何をすればよいのだろうか？今後の課題について考えて書きましよう。

【将来就きたい職業】
教員



1. 「社会に出る」とはどういうことだろう？

2. 社会に出て、「必要とされる能力」とは何だろう？

3. 「必要とされる能力」を身につけるためには、どうしたらよいのだろう？

↓

↓

↓

↓

4. 自分が将来就きたい職業に就くためには、何をすればよいのだろう？今後の課題についても考え、書きましょう。

【将来就きたい職業】

【将来の職業に就くために必要なこと】

【今後の課題】

